

コース番号:26-20-12-134-059

在庫管理の進め方

講師から

在庫管理を「経験や勘」ではなく、コスト管理・納期管理の視点から定量的に捉える力を養います。基礎理論で共通認識を形成した上で、在庫管理ゲームを通じて在庫増大や欠品の発生構造を体感し、部分最適の危険性を理解していただきます。さらに振り返りにより自業務へ置き換え、数値目標として業務改善に落とし込むことで、実践につながる学習効果を高めます。

受講料
3,300円
(税込)

実施日時

10月21日(水)

10:00~17:00(6時間)

会場

飯田商工会館1階
商店街交流ホール
(飯田市常盤町41)

対象者

初任層、中堅層

定員

15名
(先着順。最少催行人数6名)

講師

株式会社テクノ経営総合研究所
エキスパートコンサルタント
佐竹 陽一氏

申込締切

9月28日(月)

※受講の申込方法は裏面をご覧ください。

生産性向上支援訓練のオープンコース最新情報はこちら(HP)
⇒<https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/seisan-open.html>



【主催】  独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers
長野支部長野職業能力開発促進センター

【共催】 飯田商工会議所

【訓練に関するお問い合わせ】
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター 松本訓練センター
ポリテクセンター松本 生産性向上人材育成支援センター
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

コース名

在庫管理の進め方

コースのねらい

コスト管理及び納期管理の視点による定量管理手法による業務改善目標の作成方法を理解して、コスト削減に必要な知識・技能を習得する。

| | 基本項目 | 主な内容 | 時間(H) |
|------|------------|---|-------|
| 講義内容 | 在庫管理の考え方 | (1) 在庫の役割と経営的意義(コスト・納期との関係) ・在庫は「悪」ではなく経営判断の結果であること ・在庫が発生する理由(需要変動・供給リードタイム・ロット)について ・在庫とコスト(保管費・廃棄・機会損失)／納期(欠品・遅延)の関係整理 →在庫を経営指標してとらえる視点を持つ (2) 在庫管理に必要な基本指標と定量管理 ・在庫回転率・在庫日数・欠品率・滞留在庫率 「見える化」できていない在庫の典型例 定量指標を業務改善目標(例:回転率○%改善)に落とす考え方 →改善活動を「数値で語れる状態」にする (3) 現場でよくある在庫問題と原因構造 ・「なぜ減らせないのか?」の典型パターン ・安全在庫の過剰設定と部門間の部分最適(購買・生産・物流) ・在庫問題をコスト視点／納期視点で分解する方法 →後半のワークに繋がる問題意識の共有 | 2.5 |
| | 在庫の適正化について | (1) 在庫適正化の基本原則(ワーク前インプット) ・適正在庫とは「最小」ではなく最適 ・需要変動・リードタイム・情報遅延の影響 ・部分最適が全体最適を壊す構造の理解 →ワークを「体験で終わらせない」ための理論準備 (2) 発注点・安全在庫の設定、在庫回転率 ・役割分担(小売・卸・メーカーなど) ・情報が遮断された状態での意思決定 ・在庫増大・欠品・過剰発注の発生を体感 →なぜ在庫が増えると納期が乱れるのかを自分事として理解 (3) 発注リードタイムと在庫回転日数の適正值 ・なぜ在庫が暴走したのか(要因整理) ・自社業務への置き換え(情報共有、発注ルール、指標設定) ・定量管理による改善目標の作成演習(例:在庫日数▲20%、欠品率▲50%) →体験 → 理解 → 自部署の改善目標に落とす | 3.5 |

受講申込の手順

※令和8年度より、FAXでの申込は受け付けておりません

ポリテク松本のホームページから、「生産性向上支援訓練受講申込書」をダウンロードしてください。



必要事項を記入し、申込締切日までにポリテク長野宛て(下記送信先)電子メールで送付してください。



申込書がポリテク長野に到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたしますので、指示に従ってください。

受講申込書送信先 : nagano-seisan@jeed.go.jp

会場案内

飯田商工会館
(飯田市常盤町41)

車でお越しの方は
会場の駐車場
(無料)をご利用
ください。

